

調査事業名	「福島県・相馬地方の住民主体による持続可能な復興ビジョンづくり中間支援」実証事業
対象地域	福島県相馬地方4市町村:相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村
応募団体名	東北コミュニティの未来・志縁プロジェクト(代表団体)、“2030ビジョン”プロジェクト、おひさまプロジェクト

◆計画概要

相馬地方の住民が市町村域を越え、地震・津波からの復興と原発被害の克服に向けて語り合い、震災前より更にいい地域にしていくための対話の場づくりを支援するため、ワークショップや研修により地域住民の中からファシリテーターやリーダーとなる人材を育成する。さらに育成した人材のネットワーク化・グループ化を支援し、これらの団体が自発的・持続的に活動を行うための非資金的支援を実施する。将来的には、育成されたネットワークやグループがコーディネートし、地域住民が行政と協働で地域復興ビジョンづくりを行うプロセスに対して専門家派遣等の支援を行う。

◆実施結果

平成23年度の主な活動

- 住民の協働ベースとなる場づくり支援
 - ・被災住民の対話の場づくり実施(移動カフェ、仮設住宅での定点カフェ、餅つき等のイベント実施)
 - ・外部支援団体との信頼関係の構築(ふくしま復興フォーラム開催、女性の働く場づくり、放射能不安を減らす取組)
- 地域づくりを行う人材の育成とグループ化への支援
 - ・ファシリテーター育成とグループ化
 - ・地域づくりワークショップ実施
- 住民・行政の協働による地域復興ビジョンづくり支援
 - ・住民と行政の復興についての討議の場づくり
 - ・県外を含めたネットワークづくり
 - ・地域のあり方の検討と共有

震災前より更にいい地域にしていくための対話の場づくりを支援を実施

◆成果

- 地域の対話の場づくりのきっかけをつくれた。
地元の若者やベテランと外部団体等が協力し、地域の将来を語り合える場ができた。
- ファシリテーターやリーダーとしての気づきが多くの人に芽生えた。
- 継続的な対話の場づくりが進んでいくこととなった。
- 他地区への展開の方向性がみられた。

